

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0770200707		
法人名	特定非営利活動法人 ころのさと		
事業所名	グループホーム ころのさと		
所在地	福島県会津若松市石堂町6番30号 (電話) 0242-37-1331		
評価機関名	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会		
所在地	福島市渡利字七社宮111番地		
訪問調査日	平成20年2月14日	評価確定日	平成20年3月27日

【情報提供票より】(2007年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤13人, 非常勤 4人, 常勤換算13人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	18名	男性 5名	女性 13名
要介護1	8名	要介護2	5名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 84.8歳	最低 70歳	最高 96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	七日町クリニック、シンドウ歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内の住宅地に位置しているこのホームは2階建てで各々9名ずつ利用者が入居している。「第二の家族として人と人との関係を大切に生きがいを持つ生活」という理念を掲げ、無理はせず、ゆっくり、ゆったりとした時間を利用者と職員が共有している。又、開設時から地域に根ざしたホーム作りを目指し、現在では住民がお茶飲みに立ち寄りたり、食べ物をおすそ分けをしたりする間柄に発展している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 食事を楽しむ事の出来る支援については、職員が利用者を見守りや介助をしながら一緒に食べることにした。緊急時の手当てについては、職員の不安を取り除くために自動体外式除細動機(AED)を導入した。毎回外部評価の結果を踏まえ調査終了後に改善に向けて「反省会」を開き、改善に前向きに取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員で自己評価の内容を確認しながら、できているところとできていないところを再確認するという観点で取り組んだ。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5) 運営推進会議は、家族、民生委員、地域包括支援センターの他自治会の方にも参加している中で、ボランティアの紹介、災害対策等の報告だけでなく、これからの活動を提案し、活動内容や方法等について活発な意見の交換の場になっている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族等と話す際には、利用者の近況を報告するだけでなく、長い時間を取り、今後の支援の方法や家族等の利用者に対する対応の仕方などについて話し合い、家族等の不安を取り除くよう配慮している。金銭管理は、毎月の請求明細書に出納帳を同封し、家族の確認の印をもらっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 積極的に外に出て行くという考え方で取り組んでいる。夏祭りなどの行事は、事業所内での活動の一環として参加している。ホームで開催する講演会時には地域住民の方に来園の案内を出している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に職員全員で話し合い、地域とのつながりを大切にし「第2の家族として人と人との関係を大切に生きがいを持てる生活」という理念を作りあげた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時には必ず理念について説明し、意識づけと共有化に努め、利用者に関わる際には理念を大切にし、日々ケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域活動として、講演会やバザー、模擬店を開催し、利用者、家族、職員、地域住民の交流の場として定着している。このような活動を通して、お茶呑みに立ち寄ってくれる地域の方々も増えている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価の内容を確認しながら、できているところとできていないところを再確認するという観点で取り組んだ。また、外部評価の結果を踏まえ調査終了後に改善に向けて「反省会」を開き、改善に前向きに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回定期的に開催し、事業所の状況報告をもとに、毎回活発に意見交換を行っている。職員募集やボランティア、情報の提供や協力があり運営やケアサービスに反映させている。</p>		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族等の来訪時には、利用者の状況や家族の近況について話し合っている。遠方の家族には、行事の様子や利用者の日常の表情をポストカードにして、メッセージも添えて報告している。金銭管理については、毎月出納票に家族に確認印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情ポストを設置している。個々の家族等の把握した思いや意向等は、職員間で情報の共有をしている。時間に余裕がある時は、家族の話を聞き、意見等が表せるように配慮している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>原則異動はないように配慮している。やむを得ず異動等があった場合は、挨拶やおしゃべりの相手をしたり、レクリエーションに参加したりしながら、段階を重ねて対応するように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画を立て、県グループホーム連絡協議会が開催する研修会に参加している。参加者は職員の経験などに応じて。管理者が決定している。研修会にはほとんどの職員が参加している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡協議会に入会し、他のグループホームと交流している。また、グループホームだけでなく、居宅介護支援事業所や他の介護保険事業所とも交流を深め、記録紙の検討等、相互にケアの向上に反映されるよう取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を介護するだけでなく、利用者から習慣の違いなど教わっている。また、職員は利用者の「もったいない」という言葉には改めて共感させられている。職員と利用者は学んだり、共に支えられた関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日々の行動や表情、生活歴から思いや意向等を把握している。なかなか表現出来にくくなる方の場合、職員同士はもちろん、家族の方にも情報提供を依頼し、少しでも本人の希望に添った支援ができるように心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人や家族とケアのあり方について話し合い、それらを基に計画作成担当者、職員、管理者全員で関わり、本人の思いや家族の要望を尊重して介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にはもちろん、変化が生じた場合その都度申し送りや連絡帳など使用し、必要性に応じて利用者と家族に同席していただき、介護計画について意向等を確認しながら、見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はもちろん、本人が入居前に通院していた医療機関への受診を家族の要望等を聞きながら支援している。家族が付き添わなかった場合は、速やかに家族に報告を入れている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約時に事業所の「看取りの指針」により、事業所として出来る事、出来ない事を話しており、方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない声かけであっても、利用者の尊厳を守り、プライバシーが確保されるように配慮している。個人情報に関わる書類や記録は、所定の場所に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは決まっているが、日課にとらわれず、本人の気分、体調に配慮しながら支援している。しかし、職員数の関係で外出希望に添えない場合もあるが、状況を説明し、次回の約束をするなど希望に添った支援に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に応じてホームの畑で収穫した野菜や山菜等を調理している。献立は利用者の希望に添った内容になっている。業務の都合により、食事をする職員が1名になる事があるが、職員も利用者と一緒に食べている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者の希望に応じている。夜勤の21時以後は無理な場合もある。最近は朝風呂を希望する利用者もあり、入浴ができるように対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	利用者一人ひとりの得意分野や趣味(針仕事等)、自主性を大事にして、楽しみごとや気晴らしを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	職員から働きかけて、買い物や外食、散歩等外出する機会を設けている。通院の帰りなど職員が食事にも誘われる事もあるが、家族だけのひと時をと思い、口実を作って遠慮するなどの配慮もしている。外出をが楽しみになるよう配慮しながら、支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は自由に出入りが出来るように、自動ドアを手動に切り替えた。居室の鍵は本人の意思に任せている。21時以降は、安全という観点から施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域住民や消防署に協力をいただき、避難訓練や消火訓練等を行っている。しかし、夜間を想定した訓練は行っていない。</p>		<p>今後は、夜間を想定した避難訓練を実施するよう検討してほしい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の食習慣の情報は把握しており、体調に応じて水分、食事の量等について栄養士と連携をとりながら支援している。また、その日の状況で、出された食事が食べたくない時などは代替食を提供している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には生け花が飾られ、食堂や廊下の壁には季節ごとの行事の写真を飾るなど、利用者が季節を感じ、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具や飾り付けは利用者本人や家族の意向に添ったものを持ち込んでもらうようにしている。利用者は、孫からのプレゼントの人形や写真等個々にあった居室作りをしている。家族は居室に宿泊する事も出来る。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（別紙1）を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム こころのさと
記入担当者名 鈴木 美和

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。